

第 54 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	林健太ゼミ	チーム名	はりぼてと洋なし
タイトル	ネット上の風評被害についての一考察		
テーマ群	a) 理論・情報 c) 産業・企業		
メンバー	川北一心、長尾駿介		
研究計画内容	<p>【研究背景】 デジタル化が進む現代において、インターネット上での情報拡散が社会への影響を増大させている。特に誤情報や偏った意見が SNS や掲示板を通じて広がりやすく、企業や個人への悪影響が懸念されている。なかでも「風評」や「炎上」による被害は、個人・企業に長期的な信用失墜や経済的損失をもたらす社会問題となっている。そのため、本研究を通じて、「風評」や「炎上」による被害発生メカニズムやその影響を解明し、適切な対応策を提案したい。</p> <p>【研究内容】 本研究では「風評」と「炎上」を定義づけて、その違いを明確にする。そしてそれぞれの事例を取り上げ、企業がどのような経済的影響を受けたのかを分析する。また、感情分析ツールを用いて SNS の投稿を分析することで、「風評」と「炎上」どちらの現象のほうが、それを見た人にネガティブな感情を引き起こすのかを調査し、対応策を検討する。</p> <p>【期待される効果】 本研究によって SNS 上での「風評」と「炎上」の違いを明確にすることで、これらの現象に対する理解が深まり、個人や企業がとり得る対策が分かるようになることが期待できる。</p> <p>【参考文献】 関谷直也 (2003)、「風評被害」の社会心理－「風評被害」の実態とそのメカニズム－ 災害情報, No. 1, pp. 78-89.</p> <p>櫛部健汰、伊藤恵 (2020) , 「風評被害軽減を目的とした観光地に関する SNS 投稿の分析」 観光情報学会第 21 回研究発表会, pp. 29-32.</p> <p>田中辰雄、山口真一 (2016) , 『ネット炎上の研究』, 勁草書房.</p>		